

10月は食品ロス削減月間です

問 環境課 ☎56-0612

食品ロスとは、食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。本市では、2024年3月に「食品ロス削減推進計画」を策定し、食品ロス削減に向けて取り組んでいきます。



🔍食品ロスの現状

2022年度の調査によると、本市の家庭系もえるごみの16.6%が食品ロスで、1人1日あたり76g(Lサイズのたまご1個分)のまだ食べられる食品が捨てられています。

🔍今日からできる食品ロス削減のための取組

01 3きり運動をやってみよう!



食材を必要な分だけ買い、正しく保存して無駄なく活用しましょう。



料理は必要な分だけ作り、全て食べきるようにしましょう。



生ごみを捨てるときは水気を切りましょう。市HPで水きり方法を30秒の動画で紹介しています。



02 フードドライブを活用しましょう!

フードドライブとは、家庭で余っている未使用食品を集めて食糧支援を必要とする人や地域の福祉施設等に寄贈する取組です。長久手市社会福祉協議会では、「まだ食べられるのに処分される食品」を募集しています。詳細は社会福祉協議会HPへ。



時 9:00～17:00

※月曜日休館
(祝日の場合は翌平日)

場 社会福祉協議会窓口、
ながくてエコハウス



まちの話題

市民記者が長久手市の話題を紹介!



はぐろ とんぼ

▼羽黒蜻蛉



オスもメスも羽は真っ黒なデザインに、イトトンボの仲間と同じように羽根を閉じて止まっていることの多いトンボで、ゆるやかな流れの川に生息します。本種の生息は、水生植物(特に沈水植物)の茂る安定したゆるやかな流れと、薄暗い林が隣接した場所の存在を示す環境に存在します。かつては普通に見られましたが、生息環境の減少により、個体数が減っています。東京では絶滅危惧種Ⅰ類、青森では絶滅危惧種Ⅱ類に指定されています。



市民記者
ブログ



市民記者: 梶田健三

